

## 「心臓血管外科患者における術前身体機能と術後在院日数の関連性」

加古川中央市民病院リハビリテーション部では、術前身体機能評価に参加した心臓血管外科患者さんを対象に、表題の研究を実施しております。その詳細は下記の通りになっております。

尚、この研究についてご質問がございましたら、最後に記しております【問い合わせ窓口】まで連絡ください。

### 【研究概要及び利用目的】

心臓血管外科手術において、術前の身体機能低下やフレイルは術後合併症の増加や回復遅延と強く関連するため、術前からの適切な身体機能評価とリハビリテーション介入が重要とされています。全国的の多くの心臓血管外科では、待機手術患者さんに入退院支援（Patient Flow Management: PFM）を導入し、在院日数の短縮などに取り組んでいます。

当院は、2024年6月までは心臓血管外科術患者には、術前のリハビリテーション介入は行われず、手術後に主治医が術式の内容や状態に応じてリハビリテーションが処方されて理学療法士が早期離床や退院を目的にリハビリテーションを実施していました。術式によってはリハビリテーションを行わずに予定の日数で退院していました。しかし、2024年7月から多職種連携による早期退院支援の一環として心臓血管外科患者さんのPFMに術前リハビリテーションを新たに組み込み、術前外来の段階から理学療法士が身体機能評価（SPPB等）やリハビリテーションの実施、術後リハビリテーションの流れについて説明を行っています。

今回、心臓血管外科手術予定患者さんを対象に、術前身体機能評価および術後リハビリテーション処方の有無を組み合わせて、PFMの視点から「術前身体機能と術後在院日数の関連性」を分析させていただきます。

この調査により、身体機能低下のために退院調整が難渋すると予測される患者さんには術前から多職種連携によるリハビリテーションの早期介入を行い、在院日数の適正化ならびに円滑な退院支援につなげたいと考えております。

### 【研究期間】

研究期間：加古川中央市民病院長承認日 ～ 西暦 2027年 3月 31日

### 【取り扱うデータおよび試料・情報の項目】

- 対象となる期間、疾患名、治療方法（術式、内服薬など）  
2024年7月1日～2026年3月31日の間に術前身体機能評価が実施できた患者さんの診療録より下記の情報を取得いたします。
- 研究に利用する試料・情報の種目を記入してください  
基本情報：主病名、検査時年齢、性別、既往歴および併存症の有無、喫煙歴、BMI（身長は診療録より収集、体重は術前評価日に測定）、義歯の有無、残歯数  
問診項目：①Malnutrition Universal Screening Tool(MUST)、②MMSE（ミニメンタルテスト）、③Barthel Index、④Life Space Assessment(LSA)、⑤Patient Health Questionnaire-9(PHQ-9)  
身体機能評価項目：①最長発声持続時間、②舌圧、③咬合力、④握力、⑤SPPB(4m 歩

行時間と5回立ち座り試験)

#### **[個人情報保護の方法]**

プライバシーの保護に配慮するため、患者さんの試料や情報は直ちに識別することができないよう、研究対象者識別番号リストを作成して加古川中央市民病院の6階リハビリテーション室の鍵のかかる保管庫で管理します。

研究成果を報告する時も個人が識別されないように行います。この研究に参加していただいた患者さんの個人情報については、本研究に関わる全ての研究者が守秘義務を順守するように徹底いたします。個人情報を外部機関へ提供することはありません。患者さんの個人情報は研究責任者が責任をもって保管します。

#### **[試料・情報等の保存・管理責任者]**

加古川中央市民病院 リハビリテーション部 責任者氏名：大西伸悟

#### **[データおよび試料提供による利益・不利益]**

利益：通常診療の情報を用いており、データをご提供頂いた患者さんの個人には特に利益になるようなことはありません。

不利益：診療録からのデータのみ利用するため特にありません。

#### **[登録終了後のデータおよび試薬の取り扱いについて]**

本研究において取得したデータ等は、研究期間中は加古川中央市民病院において厳重に保管いたします。研究終了後も少なくとも本研究の終了報告日から5年を経過した日または本研究の結果の最終の公表について報告された日から3年を経過したいずれか遅い日までの期間、当院内のデータベース内のみで管理し、プリントアウトや外部持ち出しは行いません。患者さん及びその家族等から参加拒否または同意撤回の申し出があった場合には、その方に関するデータはすみやかに廃棄します。

#### **[研究成果の公表について]**

研究成果は学術目的のための論文や学会等で発表されることがありますが、その際も個人を特定される情報は公表いたしません。

#### **[研究へのデータ使用の取りやめについて]**

いつでも可能です。患者さんのデータを用いたくない場合には、下記【問い合わせ窓口】までご連絡ください。取りやめの申し出を受けた場合、それ以降患者さんのデータを本研究に用いることはありません。しかし、同意を取り消した時点ですでに研究成果が論文などで公表されていた場合は廃棄できませんのでご了承願います。

#### **[問い合わせ窓口]**

この研究の問い合わせだけでなく、患者さんのデータが本研究に用いられているかどうかお知りになりたい時や、患者さんのデータの使用を望まれない場合など、この研究に関することは、どうぞ下記の窓口までお問い合わせください。

加古川中央市民病院 リハビリテーション部  
研究責任者名 大西伸悟  
連絡先：079-451-5500